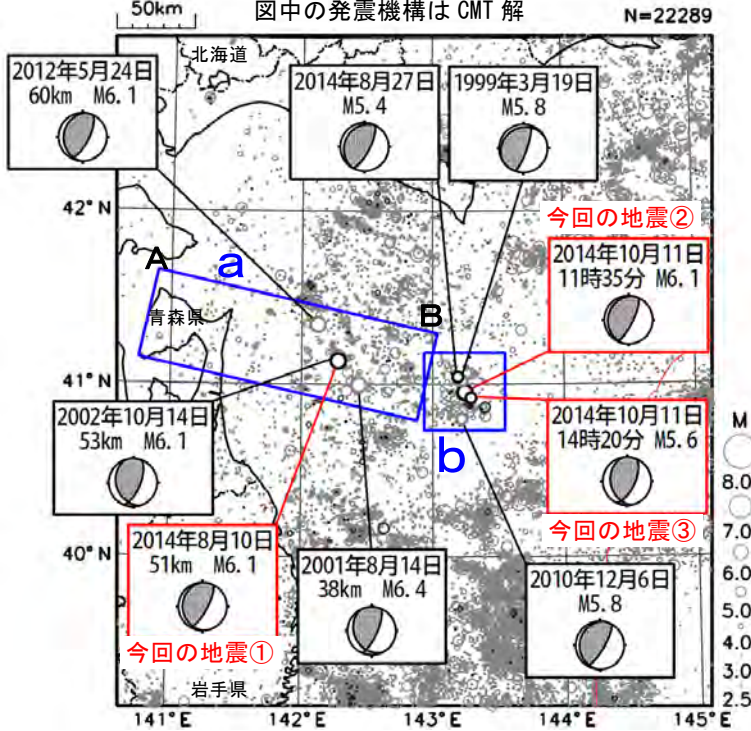


# 8月10日、10月11日 青森県東方沖の地震

## 震央分布図

(1997年10月1日～2014年10月31日、  
深さ0～100km、 $M \geq 2.5$ )

2014年8月～10月の地震を濃く表示  
図中の発震機構はCMT解

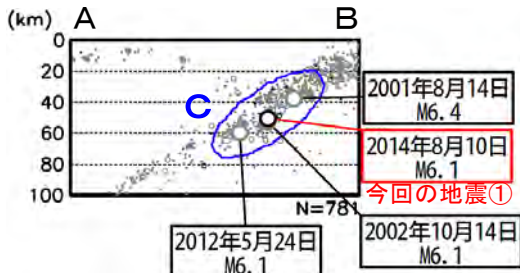


2014年8月10日12時43分に青森県東方沖の深さ51kmでM6.1の地震(最大震度5弱、今回の地震①)が発生した。また、この地震の東方約80kmで、2014年10月11日11時35分にM6.1の地震(最大震度4、今回の地震②)、同日14時20分にM5.6の地震(最大震度3、今回の地震③)が発生した。これらの地震は、いずれも発震機構(CMT解)が西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震①の震源付近(領域c)では、2002年10月14日にM6.1の地震(最大震度5弱)が発生するなど、M5.0以上の地震が時々発生している。また、今回の地震②③の震央付近(領域b)では、2010年12月6日にM5.8の地震(最大震度3)、最近では2014年8月27日にM5.4の地震(最大震度2)が発生するなど、M5.0を超える地震が時々発生している。

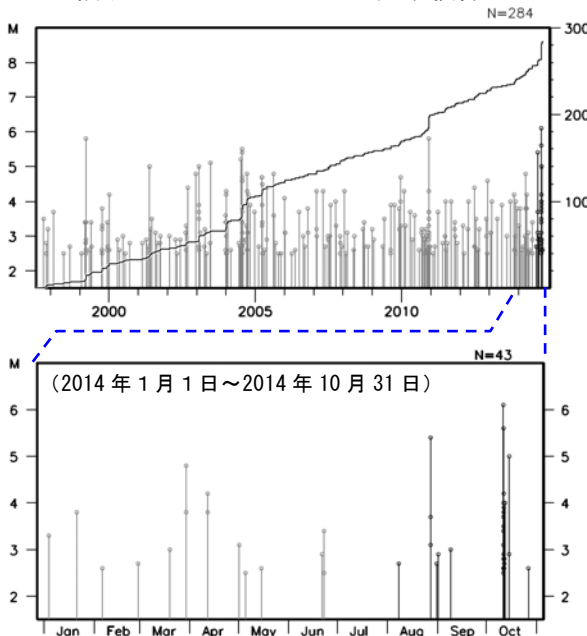
1923年1月以降の活動を見ると、今回の地震①②③の震央周辺(領域d)では、「1968年十勝沖地震」(M7.9、最大震度5)や「平成6年(1994年)三陸はるか沖地震」(M7.6、最大震度6)など、M7.0以上の地震が時々発生している。

## 領域a内の断面図 (A-B投影)



※領域aより東側は深さの精度が低い

## 領域b内のM-T図及び回数積算図



## 領域c内のM-T図及び回数積算図

